

## 2021 年度事業報告書

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

一般社団法人 回復支援の会

### 1. 事業の成果

2021 年度は、2020 年度に引き続き木津川ダルクでの依存者回復支援を行う。当年度新規入所者は 4 名、退所者は 6 名、うち 1 名は奈良ダルクに移動、うち 1 名が就労となる。2022 年 3 月末日にておいて 9 名の入所者となっている。コロナ禍の影響もあり入所者は定員 7 割程度となった。通所利用については、こちらもコロナ禍の影響もあり短期の通所利用が 2 名となっている。

提供プログラムにおいては、グループミーティングやワークブックを使ったグループワークを 1 日 2 回行った。ヨガ療法プログラムを年間 3 回、鍼灸プログラムを年間 2 回、地域清掃を 4 回、スポーツ、ハイキングや散策・花見、食事会等レクレーション年間 10 回、家族教室を年間 11 回開催する。

対外的活動として、講演活動は年間 17 回。大阪保護観察所等プログラム年間 15 回。病院メッセージ年間 21 回 (Zoom)。勉強会・研究会参加年間 15 回 (Zoom 含む)。研修会、学会、フォーラム等参加年間 8 回 (Zoom 含む)。

2020 年 12 月に開設した奈良ダルクの運営のサポート、2021 年 12 月に開設した堺ダルクの開設をサポートする。

車両の老朽化に伴いマツダ CX-8 を購入。頭金として 150 万円は加藤の貸付とした。

また、当年度より、「寄り添い型相談支援事業 (全国支援事業)」及び「被災者見守り・相談支援事業」(厚生労働省補助事業) の事業実施者 (一社) 社会的包摂サポートセンターより近畿ブロック地域センターとして受託し、「よりそいホットライン」(電話相談) 事業を実施する事となり事業規模は約 4,000 万円となっている。

コロナ禍ということもあり木津川ダルク利用者が増えず法人全体としては 270 万円程度 (車両購入費を含む) の赤字となった。